

**綱 領**

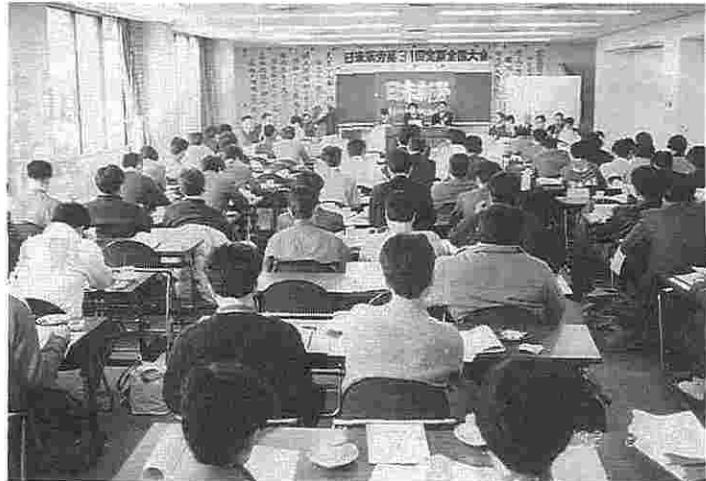
1. 吾々は、社会正義に立脚した良権を守る。吾々は、労働運動を通じて生活の安定と向上を図る。
2. 吾々は、常に暴力と独裁を排し、明るなる民主的労働組合としての健全なる発展を期す。
3. 吾々は、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する。

# 日本赤新労

平成4年  
3月15日  
発行  
第136号

発行所  
日本赤十字新労組合連合会  
(日赤新労)  
東京都港区浜松町2-2-14  
K Iビル802  
TEL(03)3433-3028  
発行責任者  
梅村正一

## '92賃上げ 8.3% 24,400円に決定!



熱心な討議が行われた第31回定期全国大会

### 第31回定期全国大会開催 平成四年度運動方針など決定される

二月二十三日より二十五日の三日間、愛知県額田郡幸田町「三河ハイツ」において、全国加盟店組より代議員、オブザーバーが多数参加し、第三十一回定期全国大会が開催された。

藤村中央副執行委員長の開会及びプロフィールは裏面で紹介

宣言後、議長に盛山和田氏（盛山日赤）、副議長に鈴木典浩氏（前橋日赤）、書記に馬場拓吾氏（今津日赤）を選出した。

次いで青山中央執行委員長の挨拶があり、祝電披露と各部報告、一般経過報告、決算報告及び単組報告で第一日目が終了した。

第二日目には運動方針、予算、闘争方針、日赤新労事務局員の就業規則、日本赤十字社育児休業規程、日本赤十字社機構改革に伴う給与要綱の一部改正等を審議した。

最終日に役員の選挙、大会について質問があったが、交渉の採択、新旧役員挨拶、万歳三唱と順調に日程を消化し、答原中央執行委員の閉会の辞で無事終了した。（新日役員挨拶）

熱心な討議が行われた第31回定期全国大会

て次期中央委員会までに検討することになった。  
保母職の医療職（表への格付け）に關しても議論されたが、今年度は原案通り要求することになった。

四、平成四年度闘争方針案について  
保母職の医療職（表への格付け）に關しても議論されたが、今年度は原案通り要求することになった。

#### 《審議》

一、平成四年度運動方針案及びスローガンについて

賃成多数で決定した。

二、平成四年度予算案について

賃成多数で決定した。

三、平成四年度要求書案について

平成四年度は要求書のスタイルを新しくした。

四、会計監査報告

以上、一、四賃成多数で承認された。

五、各単組経過報告

例年通り単組報告が口答で発表されたが、参加者がメモを取りながらも大変であり、他の単組の活動を把握することも大変との意見で、「文書報告」で実施してほしいとの意見が出され、賃成多数で決定した。次年度から各単組報告は文書で報告することになる。

尚、本部から、印刷等の関係もあり、報告書のスタイルと期末・勤勉手当に対する加算措置について要望があつた。

先行き不透明感が一段と深まり、公定歩合の四次引き下げを含めた幅広い景気対策が取られた。

中央執行委員長に選出されました。

①育児休業法第九条「雇用管

理等に関する措置」を盛り込む

改定について

②看護部新設に伴って、看護

部門改定について、看護

部門改定について、看護

部門改定について、看護

部門改定について、看護

部門改定について、看護

部門改定について、看護

### 『蒲郡大会宣言』



大会宣言を朗読する  
重藤敬さん

合  
重藤敬子  
平成4年2月25日  
筑前山田赤十字病院労働組合  
全国大会宣言とする。

実現しよう」「時間短縮と完結週休一日制を実現しよう」「男女平等をめぐる意識改革を進めよう」「天下り人事の排序と明瞭な職場環境を築こう」の六項目のスローガンを掲げ、日赤新労の理念を基調とし、全組員の協力のもと、やるべきない意志と団結にて、実施、中労委提訴、実力行使の戦術を駆使し、効率的な活動を開拓することを賃成多数で決定した。

四、平成四年度闘争方針案について  
保母職の医療職（表への格付け）に關しても議論されたが、今年度は原案通り要求することになった。

四、平成四年度闘争方針案について  
保母職の医療職（表への格付け）に關しても議論されたが、今年度は原案通り要求することになった。</

